

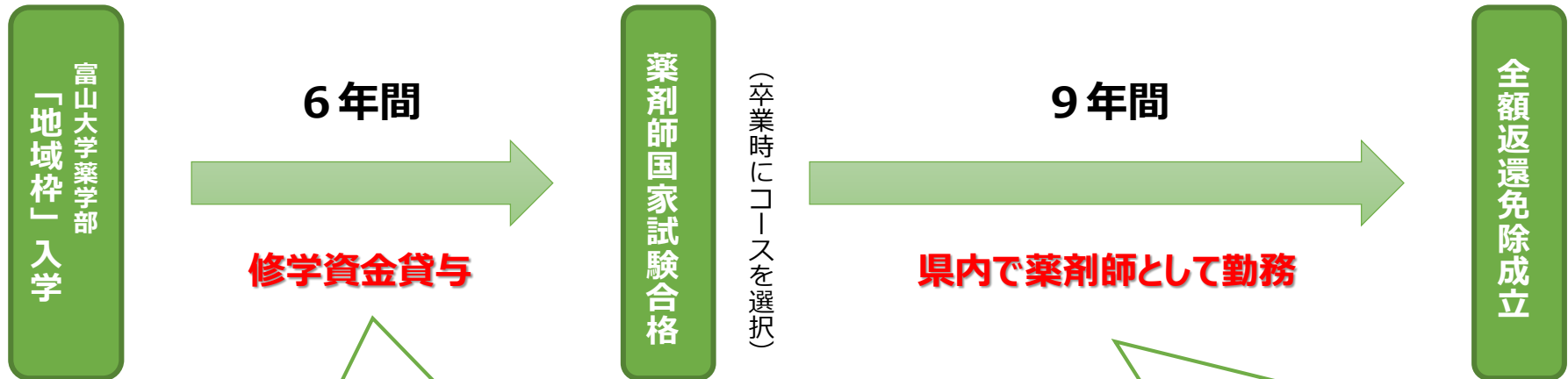
富山大学薬学部「地域枠」を対象とした奨学金制度の概要

<富山大学薬学部「地域枠」について>

- 募集対象： 富山県内の高等学校等を卒業した者（卒業1年以内）
- 募集定員： 10名（薬学部薬学科70名の内数）
- 教育課程： 地域創生型カリキュラム
 - ・ 県内製薬企業へのインターンシップ（企業薬剤師育成学）
 - ・ 県内病院・行政等の見学ローテーション（薬剤師キャリアデザイン学）など

※国立大学薬学部として全国初

令和6年4月入学生への
入試から対象



<貸与額>

※ 入学者は全員が貸与を受ける前提。

- ・ 入学料：28.2万円
- ・ 授業料：53.6万円/年
- ・ 修学費：5万円/月

(6年間計：709万円)

- ① **地域医療コース**（地域医療介護総合確保基金を活用）
薬剤師が不足する県内の公的病院等に従事する。
薬局との連携など、地域で活躍できる薬剤師の養成を目指す。
- ② **製薬企業コース**（県と採用企業が1/2ずつで負担）
地域枠生の採用を希望する県内製薬企業で、品質管理や開発等に従事。
- ③ **行政コース**（県負担）
県庁、厚生センター、県研究所などで、薬務・衛生行政に従事する。

(参考資料)

富山大学薬学部「地域枠」の創設と奨学金制度のねらい

※ 令和5年3月8日発表

<富山大学薬学部「地域枠」の創設について>

富山県内の持続的な医療基盤の充実・産業の発展を支える中核となる薬剤師の輩出・地域定着を目指す。
国立大学の薬学部として、全国初の「地域枠」。

- 募集対象： 富山県内の高等学校等を卒業した者（卒業1年以内）
- 募集定員： 10名（薬学部薬学科70名の内数）
- 選抜方式： 一次試験…書類審査、適性検査（英/数/物/化の記述式試験）
最終試験…面接、地域医療等に関するプレゼンテーション
- 教育課程： 地域創生型カリキュラム
 - ・ 県内製薬企業へのインターンシップ（企業薬剤師育成学）
 - ・ 県内病院・行政等の見学ローテーション（薬剤師キャリアデザイン学）など

令和6年4月入学生への
入試から対象



- 薬剤師の採用難が続く本県において、地域枠から輩出される薬剤師には、**確保の必要性が高い従事先に、確実に定着**することが期待されている。
- 地域枠生に対する経済的インセンティブの付与で、**優秀な学生を集める**とともに、**学業に集中できる環境の提供により、地域をリードできる人材の育成**につなげる。

地域卒生の従事先について

- 本県での薬剤師確保の状況も踏まえ、奨学金の返還免除の要件とする地域卒生の従事先としては、①地域医療コース、②製薬企業コース、③行政コースの3コースを設けるものとする。
- 地域卒生は、在学中における富山大学のキャリア指導を経て、卒業時に、本人の希望に基づき就職先としていずれかのコースを選択する。

富山大学「地域創生型カリキュラム」 によるキャリア指導

- ✓ 特色ある教育で、地域での薬剤師キャリアへ深い理解を促進
 - 県内の病院、企業等への見学ローテーション
 - 薬学部同窓生による多様なキャリア紹介
 - 県内製薬企業へのインターンシップ
 - 県内病院での実務実習
- ✓ 地域卒生との面談等を通じて、地域での薬剤師キャリアと本人の希望のマッチングを図る



- ◆ フューチャー・アレンジメント部門
- ◆ 臨床教育部門
- ◆ グローカル・リレーション部門



- 公的病院を中心に、**地域医療に従事**する薬剤師（5～8名程度を想定）
- 財源：地域医療介護総合確保基金

※ 想定人数は、現在の卒業生の就職状況をもとに概算で算出

① 地域医療

地域卒生の
想定される従事先

③ 行政

② 製薬企業

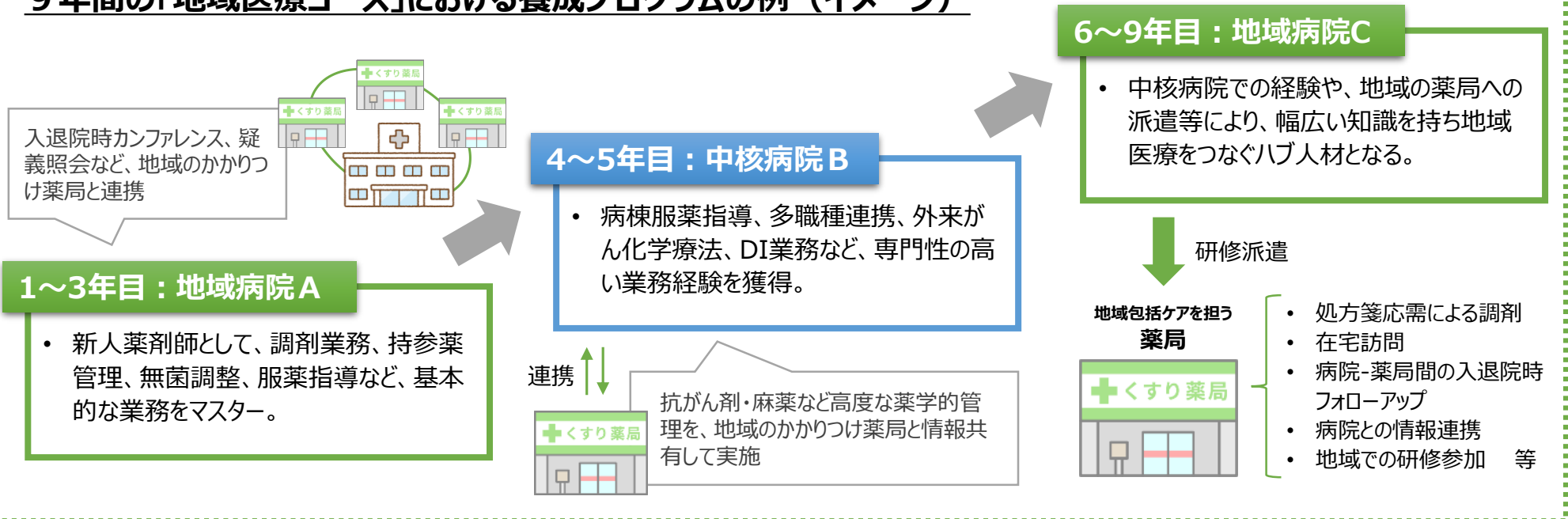
- 県庁、厚生センター、県研究所などで、**薬務・衛生行政に従事**する薬剤師（1～2名程度を想定）
- 財源：県負担

- 県内の製薬企業で、**製造・品質管理・開発・研究などに従事**する薬剤師（1～3名程度を想定）
- 財源：県と採用企業が負担

「地域医療コース」のイメージ

- 地域医療コースは、規模や機能などが異なる県内の公的病院を3か所程度、ローテーションで勤務する9年間のプログラムを設定し、これを満了することを返還免除の要件とする。
- 地域卒業者が従事する医療機関は県が指定するものとし、配属ローテーションの調整は富山県病院薬剤師会と連携して行う。

9年間の「地域医療コース」における養成プログラムの例（イメージ）



9年後のコース終了後は、地域の病院や、地域連携薬局・専門医療機関連携薬局などに就職し、地域包括ケアシステムを担うキープレイヤーとなることを期待。

※具体的なコース構成は、地域卒生が実際に卒業する7年後に向けて、引き続き検討を進める。

「製薬企業コース」のイメージ

- 製薬企業コースでは、「くすりの富山」の医薬品産業を担う人材としての薬剤師を製薬企業に輩出することを目的に、9年間以上、県内の対象企業で従事することを返還免除の要件とする。
- 返還免除に要する費用は、受益者から応分負担を求める観点から、地域枠生を採用した企業から1/2の負担を求め、県が残りの1/2を負担する。

対象企業の登録

地域枠生の採用を希望する企業を登録

対象企業リスト

- ・富山A薬業
- ・富山B製薬
- ・滑川C薬品
- ・高岡Dファーマ
- ・

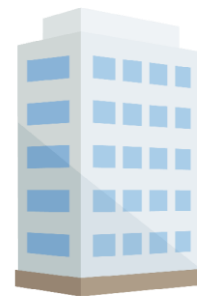
＜対象企業の主な基準＞

- ◆ 富山県内の製薬企業
- ※ 富山県内で医薬品製造業・製造販売業の許可を有していること等
- ◆ 採用学生の奨学金の返還の負担に同意



奨学金の返還費用を
県と採用企業が一定割合で負担

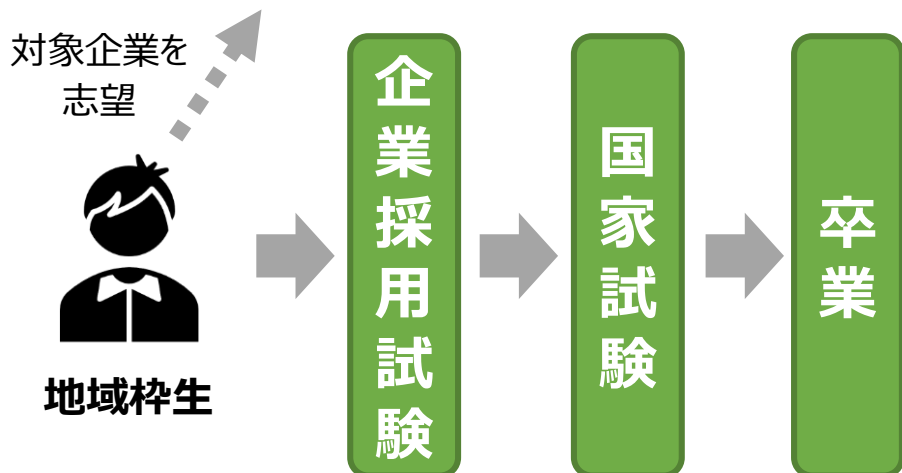
採用企業



- ◆ 製造・品質管理
- ◆ 品質保証
- ◆ 開発・研究
- ◆ 安全管理
- ◆ MR・DI 等

対象企業で9年以上の勤務

返還免除

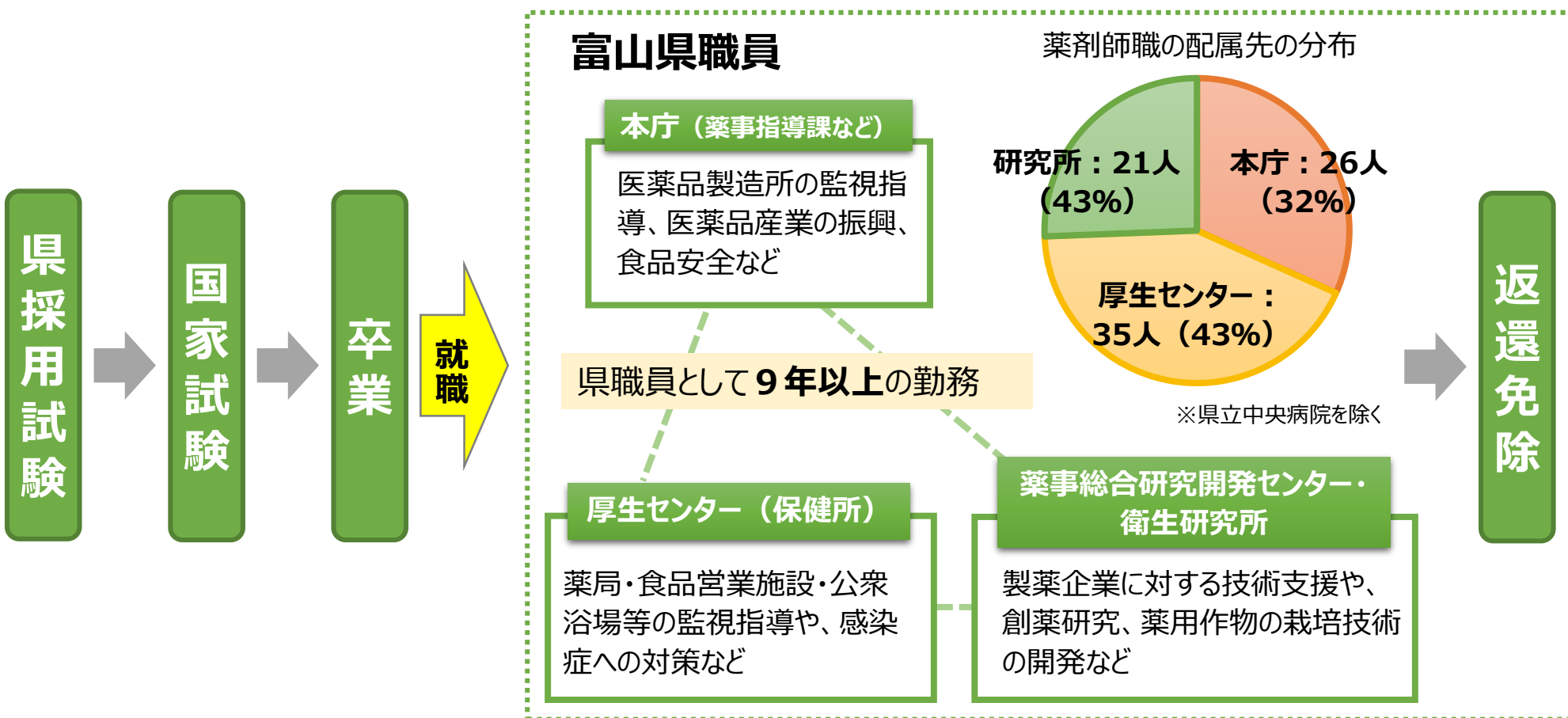


※ 地域枠生のリストは対象企業に共有

※ 対象外企業への就職 ⇒ 本人が全額返還

「行政コース」のイメージ

- 薬剤師の専門知識を活用し、保健衛生等の業務に携わる「行政コース」では、行政職員として9年以上の勤務で返還を免除の要件とする。
- 薬剤師として県職員に採用された者は、2～4年程度で、本庁、厚生センター、県研究所等のポジションをローテーションで配属されることになる。



※ 県立中央病院に勤務する薬剤師も県職員だが、病院勤務の薬剤師は「地域医療コース」を想定

富山県地域薬剤師確保修学資金貸与制度

<貸与額>

	貸与額	6年間計
入学料	28.2万円 (入学時)	28.2万円
授業料	53.6万円/年	321.6万円
修学費	5万円/月	360万円
合計	(※ 平均月額 9.9万円/月)	709.8万円

※「地域枠」入学者は全員が貸与を受ける前提。